

防霜対策本部

4月8日に「飯館村防霜対策本部」を設置し、霜に対する注意喚起を行っています。現在までに霜による被害の報告は受けていませんが、遅雪などもありブロッコリー及び葉たばこ、花卉等への影響の有無については、引き続き情報収集を続けていきます。



▲防霜対策会議の様子

現在のところ3名の要望があります。今後とも要望があれば事業費の確保をお願いしながら、農業の担い手の育成に努めたいと考えています。

有害鳥獣捕獲隊

ここ数年農作物の被害が急激に拡大している、サル、イノシシ等の有害鳥獣に対する捕獲隊の編成と隊員の委嘱を行いました。今年も昨年と同様に、二人一組の班で、農作物の被害が始める7月初めから10月下旬まで、被害が予想される地域を重点にパトロールをして頂くことにしています。

中山間地域等直接支払事業

中山間地域等直接支払事業は第3期に入り、5月6日に全体説明会と第3期中山間地域等直接支払推進協議会設立総会を開き、事業の概要や日程等について説明を行いました。第3期対策では村内20集落全てが該当することを目指します。

農地有効利用支援整備事業 (水路等整備)

昨年度村土地改良区が事業主体で実施したこの事業は、3月中旬に無事完了することが出来ました。今年度実施については、本年度

予算割当てがなく、該当する事業を現在検討中です。

森・里山学校



▲森・里山学校で公有林に広葉樹を植える参加者

5月1日、新田川・太田川漁協主催による「森・里山学校」が開催され、村内外から約100人が参加しました。

この事業は、「豊かな川を取り戻すためには上流部の森を育てることが必要」との考えから、新田川の上流部である飯櫃大火地内の公有林に広葉樹を植えるイベントとして実施したものです。村では、南相馬市と定住自立圏形成協定により、水資源の確保について相互協力を行うことにしています。

カーボンオフセット契約

5月12日、社会福祉法人いいたて福祉会と株式会社菊池製作所が「カーボンオフセット」契約を締結しました。

昨年いいたてホームに導入したチップボイラーにより、重油の使用量を減らし二酸化炭素排出の削減効果が得られることから、その削減量を立地企業である菊池製作所が買取るものです。

この契約は、自治体に関わる社会福祉法人の契約としては県内初の取り組みとなり、マスコミにも広く取り上げられました。

カーボンオフセットの取り組みにより村内の木質バイオマスボイラーの普及や資源循環活動への理解、他の企業への波及など様々な効果が得られるものと期待しています。



▲調印式の様子

あなたにつなぐ

飯館絵本リー事業

この事業の目的は、家庭等で利用されなくなった絵本を等譲り受けて読書環境を整え、村内の子どもたちが絵本に親しむことで、感謝の心や思いやりのある感性豊かな児童・生徒を育むことです。全国各地から2万冊を超える絵本や児童書の寄贈があり、この事業を通じて飯館村の諸事業にも高い関心を持ってもらうことができました。

絵本等は、幼稚園や小学校、公民館等に絵本文庫の設置したり園児、児童たちにプレゼントし、回し読みしてもらおうなどの活用を考えているところですが、活用方法は、村民代表で構成する運営委員会でも検討していただきたいと考えています。



▲全国から寄せられた絵本

ラオス交流事業

「ラオス交流事業」については、5月18日に村と認定NPO法人アジア教育友好協会が、交流や支援の内容に関する覚書(おぼえがき)の調印式を行いました。

覚書は、有効期間を平成24年3月31日とし、ラオス国ドンニヤイ中学校の学校づくりを支援することやドンニヤイ小中学校の子どもたちと交流することなどが、主要内容になっています。

この事業を通して、飯館村の子どもたちの「までいな心」と国際人としての豊かな人間性を育み、将来の飯館村を担う人づくりに資する事業にしたいと考えています。



▲覚書を交わす谷川理事長(右)と菅野村長

はやま湖駅伝大会



▲1位でゴールする飯櫃アントラーズの選手

4月29日、第20回目となる「はやま湖駅伝大会」を開催しました。村内及び近隣市町のスポーツ少年団17チームが参加し健脚を競った今大会は、初めて村内の男子チームが優勝するなど有意義な大会を行うことができました。

ほんの森いいたて

「ほんの森いいたて」が、「平成22年度子ども読書活動優秀実践団体」として文部科学大臣表彰を受賞しました。国民読書年という節目の年に大きな栄誉をいただいたことは、今後の活動に一層のほづみがつくものと考えています。

スポーツ少年団入団式

5月7日にスポーツ少年団入団式を開催しました。今年度は6団体112名、指導者24名がスポーツを通して体力の向上と団員相互の交流を図ります。

入団式終了後には、双葉町の三本杉祐輝(さんぼんすぎゆうき)さんから「感謝と命の尊さ・大切さ 夢と出会いを大切に」と題して講演をいただきました。

飯櫃中学校で教壇に立っていたこともある三本杉さんの講演に、当時の教え子の皆さんも多数出席し、子どもたちと共に「命の大切さ」について学びました。



▲命の大切さを語る三本杉さん